

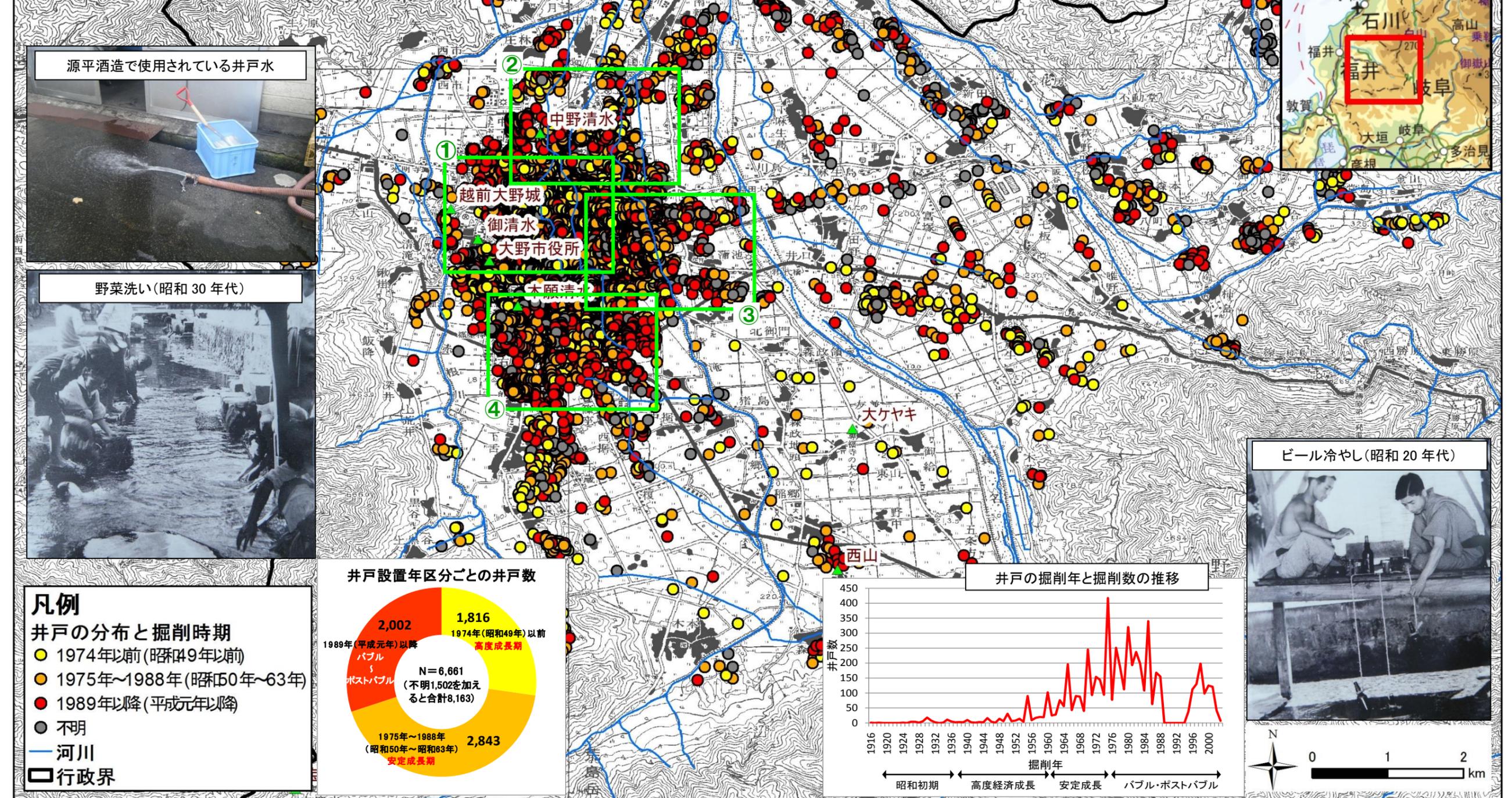
図3 暮らしの中の井戸（地下水）

市街地における井戸の分布を掘削年区分ごとに示す。電子データとして井戸台帳にまとめられている井戸だけで8,163本存在する。企業等所有の井戸も台帳には含まれるものの、世帯数の約70%が井戸を所有する計算になる（2014年《平成26年》12月1日現在；11,757世帯数）。

大野市が所有する電子データ版井戸台帳には明治期に掘られた井戸が掲載されている。掘削年が明記されている最古のものは大正5年の井戸である。オイルショック以前（1974年以前）に掘削された井戸は1,816井であったが、1975年以降の昭和期（14年間）で2,843の井戸が掘削されている。平成元年（1989年）以降も2,002の井戸が掘削されている（図中の円グラフ参照）。大野市では、1950年代以降の安定成長期に井戸が多く掘削されている（図中の折れ線グラフ参照）。市街地縁辺部では特定の地域で同一年に井戸が掘削されており、宅地造成に伴う地下水利用の拡大が考えられる。

大野市の面積と井戸本数の関係を見ると、大野市では9.36個/km²の密度で井戸が存在している。全体的な井戸の分布は真名川西岸の市街地に集中しており、市街地形成過程における地下水の重要な役割が示唆されるとともに、地下水が生活に密着している様子がみてとれる。

凡例名	データ名/資料名	データ/資料入手先
井戸の分布と掘削時期	大野市井戸台帳(電子データ)	大野市
河川	国土数値情報 河川	国土交通省国土政策局国土情報課

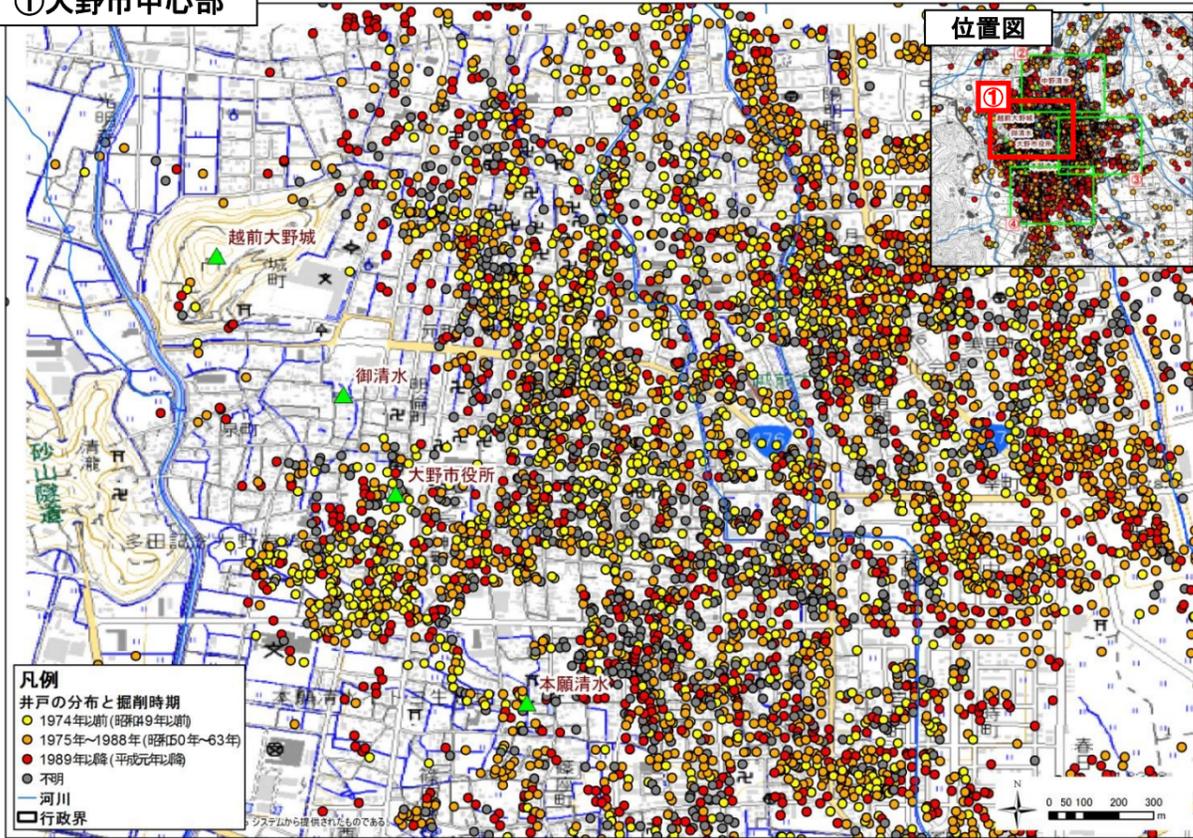


「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図200000（地図画像）、数値地図50000（地図画像）、数値地図25000（地図画像）及び電子地形図（タイル）を複製したものである。参考資料 3-4（承認番号 平27情復、第758号）」

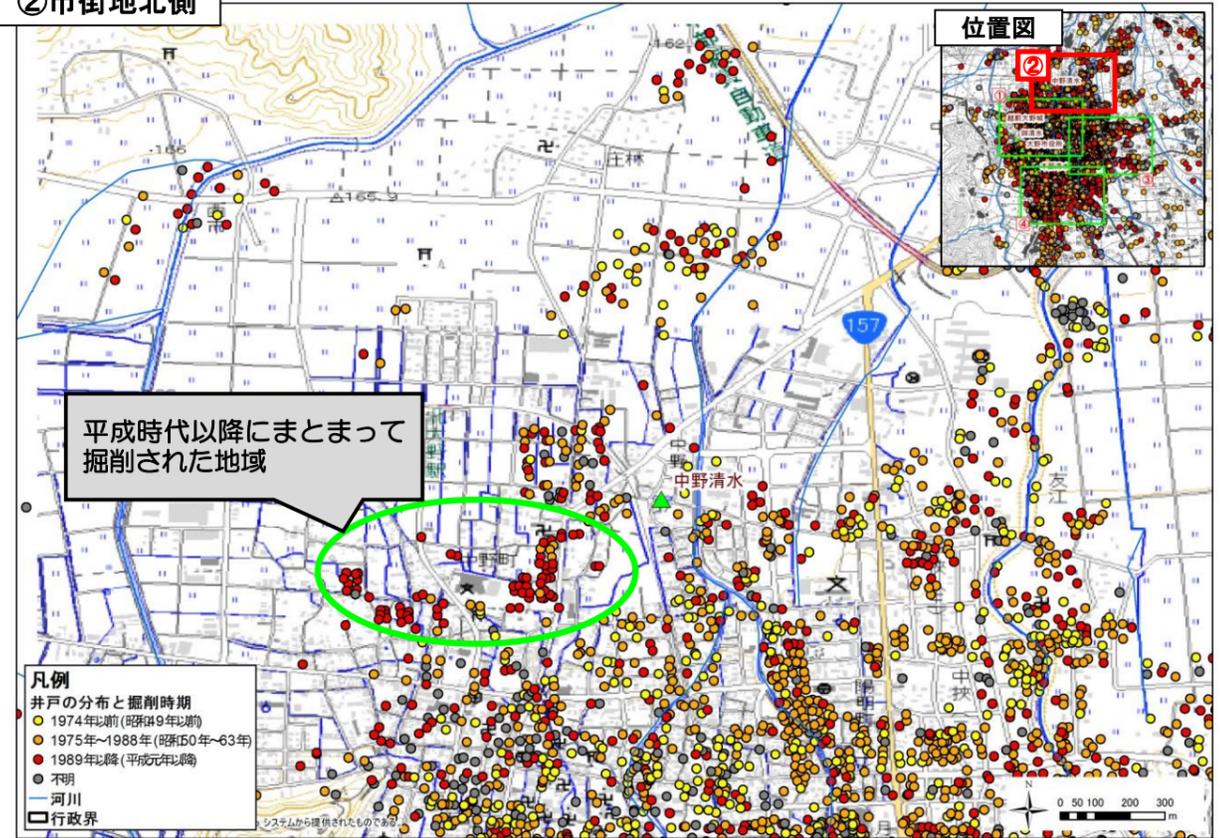
注意！！ 本資料の作成にあたっては、専門家の助言をうけておりますが、利活用にあたっては、専門家の監修を受けるようにして下さい。

丸数字は次頁の図面番号と一致する

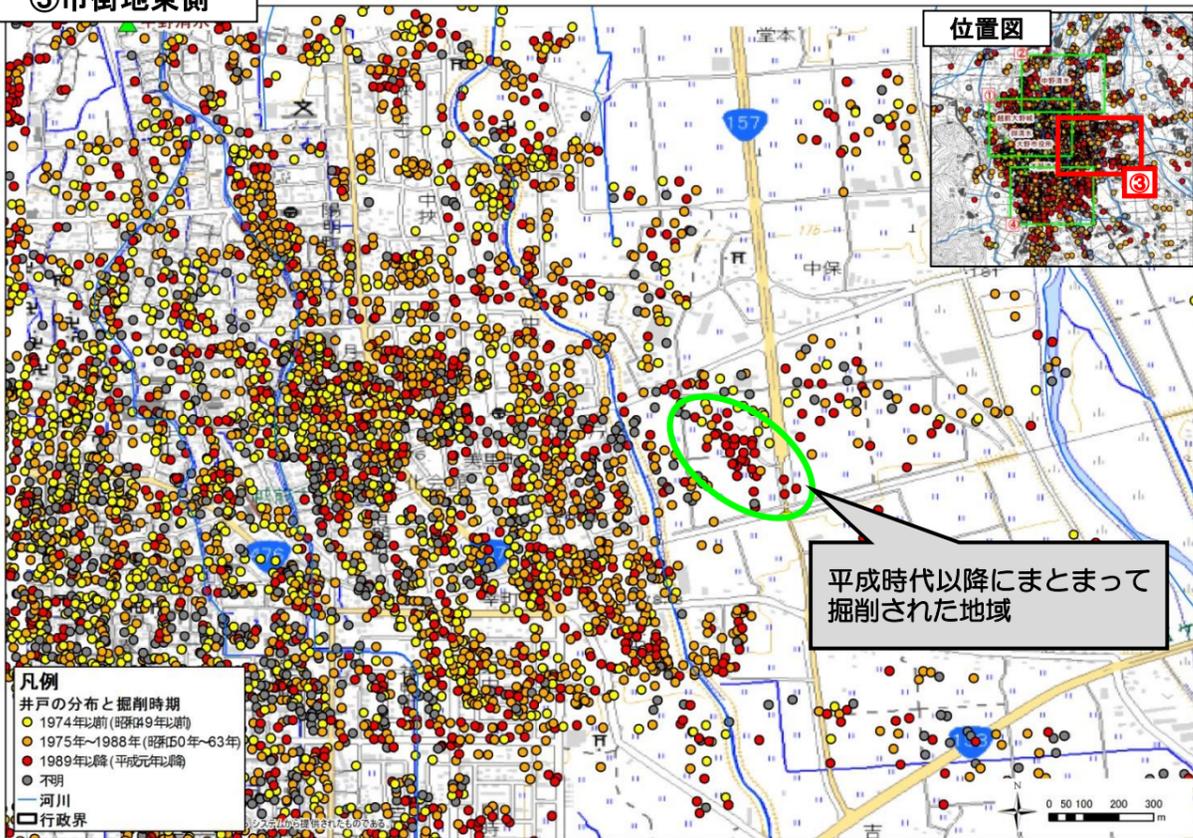
①大野市中心部



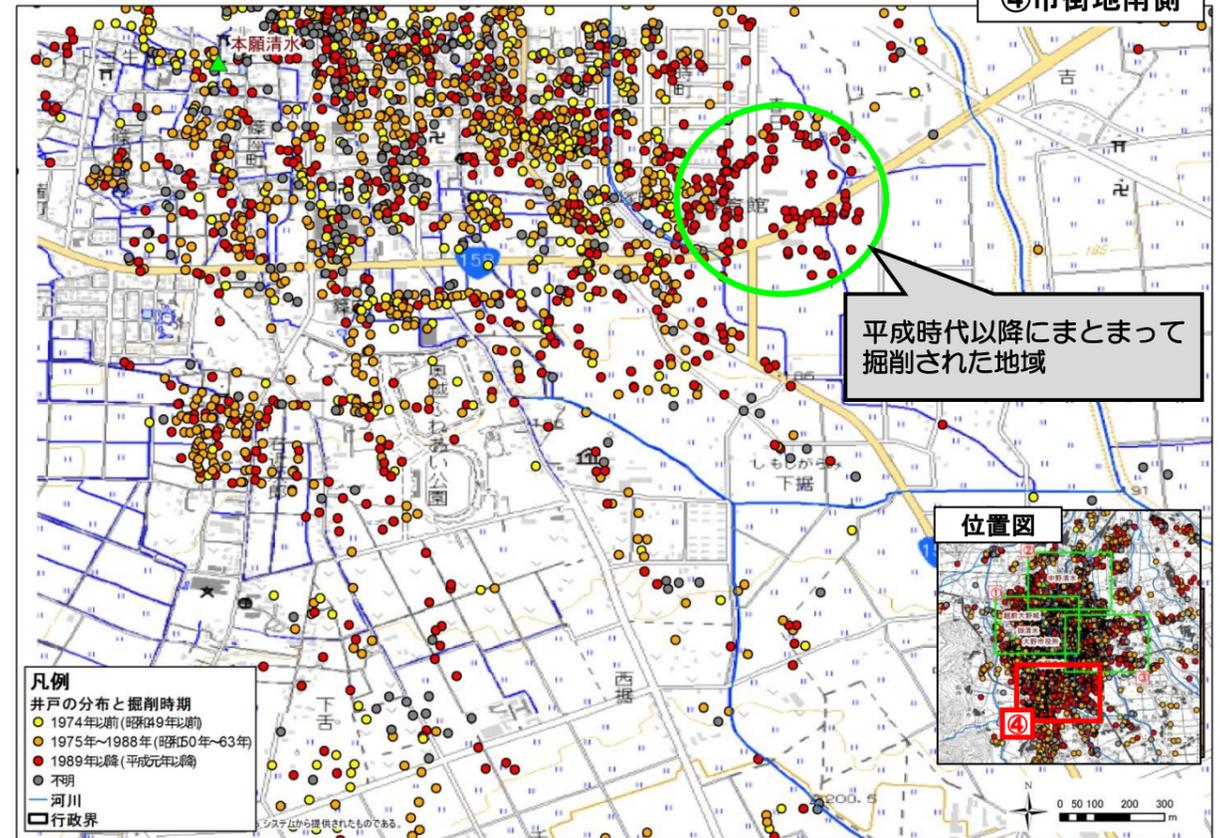
②市街地北側



③市街地東側



④市街地南側



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図200000（地図画像）、数値地図50000（地図画像）、数値地図25000（地図画像）及び電子地形図（タイル）を複製したものである。（承認番号 平27情複、第758号）」